

ワークシート記入例

ワークシート 暮らしの保健室の実例から、地域の特徴をいかす看護について考えてみよう。

ステップ1 興味をもった暮らしの保健室を1つあげてみよう。

個人ワーク

- 暮らしの保健室の名称：暮らしの保健室さくら
- 地域：A県X市
- 選んだ理由や、興味をもった点、疑問に思った点：

- ・祖父母の暮らす地域にある暮らしの保健室だったから。
- ・高齢者の施設に併設されていること。

↳ 利用者が高齢者ばかりかと思ったが、子どもや子育て中の親世代の利用も多いようだ。

ステップ2 選んだ暮らしの保健室のある地域の特徴と活動内容をまとめてみよう。

個人ワーク

ステップ2-1

●地域の特徴

- ・面積 579.14 km²
- ・人口(総人口/年齢区分人口) 449,268人
- ・世帯数 210,131世帯 年少人口:13.1%
- ・人口密度 775.8人/km² 老年人口:28.5%
- ・交通手段 自家用車, バスが中心
- ・社会資源 病院や学校, 保育所が充実している

工業都市で温暖な気候
子育て世帯が多い

ステップ2-2

●活動内容

- ・健康相談, 暮らしに関する相談
- ・体操教室(高齢者向け)
- ・子育てサロン
- ・高齢者と子どもの交流会

ステップ2-3

ほかのグループメンバーが調べた暮らしの保健室と比べてみよう。

暮らしの保健室ひだまり：都心のショッピングモールの一画で開催。毎日やっているわけではなく週に1回のみ。

暮らしの保健室さくら：特別養護老人ホームの入口に近いスペースで開催。ボランティアがいなくても特養の職員が手伝い、毎日開いている。

グループワーク

ステップ3 暮らしの保健室の活動は、その地域の特徴とどのようなつながりがあるのか、グループで意見を出し合ってみよう。

グループワーク

ステップ3-1

地域の特徴が、暮らしの保健室の活動にいかされていると感じられたことをあげてみよう。

○高齢者も子どもも多い地域

- ・高齢者向けの活動(体操教室)や子育て世代向けの活動(子育てサロン)を実施することで、地域の人々が利用しやすく、自然と人が集まる場になっている。
- ・高齢者と子どもの交流会など、地域の多世代をつなぐ役割も果たしている。

ステップ3-2

ステップ3-1であげた活動が、地域の人々にとってどのような支援につながっているか、考えてみよう。

- ・体操教室での体力向上, 子育てサロンでの育児知識習得はもちろんだが、同世代の仲間づくりにもつながっていると思う。
- ・日々の暮らしで困ったことや悩みを、仲間や専門職に相談できる場の提供にもなっている。
- ・多世代の交流は、地域の文化の継承や住民の結びつきを強めることのほか、高齢者の生きがいにもつながる。

ステップ3-3

地域の特徴を理解することと看護がどのようにつながるのか、意見交換をしてみよう。

- ・その地域の特徴に合った看護は、地域の暮らしをゆたかにして、地域の人々の健康につながる。
- ・地域の特徴を理解することで、どんな看護が必要とされているかがみえてくる。
- ・地域の特徴に合った看護実践は、専門職だけでなく地域の人々も活躍し、地域全体を巻き込んだ活動にもつながっていく。

グループワーク